

こころの園

vol.17
2017年



— 緑と^{かがや}き — 町田の丘の公園墓地 —

都心から40分。

便利な交通アクセス

電車をご利用の方は ……………

小田急線「鶴川」駅
京王相模原線「若葉台」駅が便利です。

- 「鶴川」駅から神奈中バス停1番
(若葉台駅行:真光寺バス停下車徒歩8分)
- 「若葉台」駅から神奈中バス
(鶴川駅行:真光寺バス停下車徒歩8分)

無料送迎バス運行(真光寺バス停より2分)

真光寺バス停付近から霊園まで、無料送迎バスを運行しております。お気軽にご利用ください。

運行日 ……………

- 土・日・祭日
 - 7・8月のお盆(13日～16日)
 - 3・9月のお彼岸(入り～明け)
- 年末年始は運休



平成二十九年 年回表

一般的に、追善のご法事は祥月命日かそれ以前の日取りで行うようにします。神式(年祭)ですと、故人の誕生日か命日に行います。それぞれ節目となる年回は次の表でご確認ください。

ご法事(仏教)

| | | | |
|------|---------|-------|---------|
| 一周忌 | 平成二十八年没 | 二十三回忌 | 平成七年没 |
| 三回忌 | 平成二十七年没 | 二十七回忌 | 平成三年没 |
| 七回忌 | 平成二十三年没 | 三十三回忌 | 昭和六十年没 |
| 十三回忌 | 平成十七年没 | 三十七回忌 | 昭和五十六年没 |
| 十七回忌 | 平成十三年没 | 五十回忌 | 昭和四十三年没 |

年祭(神道)

| | | | |
|-----|---------|------|---------|
| 一年祭 | 平成二十八年没 | 二十年祭 | 平成九年没 |
| 三年祭 | 平成二十六年没 | 三十年祭 | 昭和六十二年没 |
| 五年祭 | 平成二十四年没 | 五十年祭 | 昭和四十二年没 |
| 十年祭 | 平成十九年没 | 百年祭 | 大正六年没 |

《個人情報に関するお知らせ》

当霊園が保有する個人情報に関し、個人情報保護法の施行に伴い、ご案内申し上げます。当霊園では、墓地をご購入されたお客様の個人情報は、墓地の運営・管理並びに毎年当霊園の会報等を送付させていただく目的にのみ利用させていただきます。上記業務の委託を行うため管理会社並びに配送会社に業務委託いたしますが、その他の第三者に無断で提供することはいたしません。つきましては、上記内容に同意をされない時や送付を希望されないお客様は、下記管理事務所までお申し出ください。

東京多摩霊園

宗教法人 末広行浄教会

〒195-0051 東京都町田市真光寺町203番地1 (開門9:00～閉門17:00)

水曜定休日(祝日・お盆・お彼岸・年末年始は除く)お参りはできます。

お問い合わせ・お申し込みは — 東京多摩霊園 管理事務所までお申し出ください。 —

042-736-3111

<http://www.tokyo-tama.com>

霊園だより

ごあいさつ

東京多摩霊園をお使いの皆さまには平素より格別なご理解とご協力を賜り心から厚く感謝申し上げます。

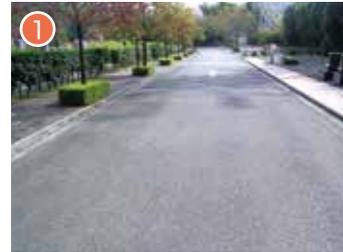
皆さまの大切な先祖霊が安らかに眠るこの町田の丘は、春には桜が咲き競い、夏には光溢れる緑と涼しい風が、秋には木々の葉が色づき、冬は静穏に包まれた申し分ない聖地環境を呈しております。

私共、管理事務所職員一同はこの環境を維持し、皆さまを快くお迎えますよう業務に精励いたして参ります。

皆さまのご健勝とご幸運を心よりお祈り申し上げます。

お客様の安心のために

東京多摩霊園では、お客様の安心のために健全な経営に努め、財産目録や財務に関する帳簿などを常に閲覧いただけるよう備付しております。今後ともいままと同様にお客様の信頼をいただける健全な経営に努めてまいります。



① ひとりの車道: 道幅6mの車道は、直接お車を墓所近くに付けられるよう配慮されています。



② 水場・手桶: お参りしやすいよう、墓所近く、園内各所に水汲み場を設けてあります。



③ ⑧ 生花販売: 管理棟にてお花とお線香を販売しております。お彼岸・お盆には園内でも販売しております。



④ 園内お手洗い: 平成25年8月トイレが新たにもう1カ所できました。



⑤ 園内通路: 入り口から園内に300m続く並木道。四季折々の花木が風情を楽しませてくれます。

23,000本の樹木が、訪れた方々をお迎えします。



⑥ あずまや・日本庭園: ご休憩にご利用ください。



⑦ 墓地: 南傾斜の丘陵地をそのまま活かしたバリアフリー設計です。



⑧ 管理棟: お待ち合わせなどにご利用できる休憩ロビー、法要室や会食室もある複合施設です。



⑨ 販売事務所: ご用の節はお立ち寄りください。

僕とお墓の不思議な「ご縁」。

ヨネスケ(落語家・タレント)



僕が生まれ育ったのは千葉の姉ヶ崎で、実家の向かいはお寺だったんです。その隣に子供達の遊び場があって、いつもそこで遊んでましたよ。草野球をやっっては、お寺の屋根にボール乗っけて怒られてね。じゃあつて反対側へやると、今度はお墓の方へ入っちゃうの。昔は土葬だから、古いお墓は棺桶が朽ちて下が空洞なんだよね。普通はそんなところ行かないんだけど子供だからさ、「○○が落っこちた!」なんてのはしょっちゅうだったな。八月のお盆の頃には、みんなで度胸だめしもやったね。たまに誰かが先回りして「ワッ!」と驚かしてきたりするんだ。僕らにとつて、お寺とお墓は身近な遊び場だったんだよね。

ご先祖の墓はまた別のお寺だった。小野家の墓の横に古い小さなお墓がいくつも並んで、無縁仏みたいになっててね。お袋と墓参りに行くと、いつもそっちの方まで掃除していましたよ。今考

えると僕、墓参りにはよく行つてたなあ。お盆の時は提灯持つて、ご先祖の魂を入れるために中に蠟燭を灯してね、お迎えに行くんです。それが13日の迎え火で、お盆が終わるまでその火は絶やさず燃やし続ける。そして15日の夜になったらまた提灯に火を入れて、お墓まで送っていくの。これが送り火。送り火の時はなんとなくもの悲しくてね。ああ、魂が帰るんだ、というのが、子供心にも理解できたんだろうな。

でもそれは特別なことじゃなく、あくまで生活の一部だったんです。お墓も、あと仏壇もね。小さい頃は朝、仏壇に水をあげるのが僕の仕事だった。内弟子に入つて途切れたけど、お袋が死んでからはまた毎日やるようになりましたね。今の家に仏壇はないけど、お袋と姉さんの写真の前に水をあげて、手を合わせるんです。お袋の命日が一九九七年七月一日、姉さんが一九九九年三月十九日。お袋の命日の前には、毎年

「ウチのお父さん死んじゃった」って。その2年後くらいに奥さんが墓を建てたんだよね。それがなんとウチから歩いて二、三分のところなんだよ! 奥さん、俺の家の場所なんて知らなかったのにさ。これは俺に墓参りに来いってことかなあと思つて、なにかあると墓参りに行くんです。不思議だけど、これも偶然。

子供の頃からお墓で遊んでいたし親友の墓はみんなウチから近いし、僕はお墓と何か因縁があるのかなあ。それで師匠の桂米丸がまた、朝飯の前に毎日仏壇に手を合わせてお経を唱えるんだ。だから僕、お経も知ってますよ。それに、ロケでお墓やお地蔵さんを見かけたら、必ず手を合わせます。「そばに来たんで寄らせていただきました」ってご挨拶してね。あとは隣の晩ごはんのときも、入ったお宅に仏壇があったら必ず座つて手を合わせていますよ。

今になつて考えると、本当はありがたいと思います。手を合わせるのも水をあげるのも昔からの

無理だけどお墓参りも行きま

すよ。駅から近いんで、花と線香だけあげてまたすぐ電車乗つて帰つてきちゃうんだけども。行かないと、なんとなく落ち着かなくてね。

なんですぐ命日を言えるかという、全部手帳に書いてあるんです。毎日の忙しさにかまけて忘れてしまうから、手帳を見て「あつ、もう過ぎちゃったか」とか「○○はあと何日後か」って思い出すんです。そうすると、なんか心が安らぐんだよね。しかもさ僕、離婚した嫁の両親と兄の分まで書いてるの。毎年新しい手帳に書き写すからその時になくしちゃえばいいんだけど、まあなんとなくね。書いておくと、きつとこの人たちも自分を見てくれるんじゃないかって思えるんですよ。

親友の(五代目柳亭)痴楽は二〇〇九年九月七日が命日で、こないだが七回忌だった。僕と(三遊亭)小遊三と痴楽、あと(三笑

亭)夢之助の四人で仲が良かったんだけど、夢之助も痴楽の墓の道挟んだ隣に墓を建ててるから、じゃあ俺はどっちかの墓に入れればいいや、つて話したんだよね。したら死んでも一緒にいられるじゃない。痴楽なんてどうせ年中遊び歩いてロクに帰つてこねえんだからもう一人入つてたつていいだろ、つてさ。しかも僕の故郷は遠いから墓参りだつて大変でしょ。痴楽の墓は神楽坂だから、嘶家連中もみんな来てくれるだろうし。「痴楽とヨネスケが同じ墓に入つてるけど名前は、澤邊」でなんなんだ、こいつら死んでもネタにしてんのか」つて言ってもらえたら、それでいいじゃない。

今は嘶家になつてからの友達だけでも一人、高校からの親友がいるんです。関つてヤツが、二〇〇五年の二月三日に亡くなつてる。両国で不動産屋をやつて、僕が所帯持った時の新居も、今の家もコイツが見つけてくれたの。もう10年以上前になるけど、今の家に住み始めたその年、ちょうど隣の晩ごはんのロケに行くつて時に奥さんから電話があつて、



ひとくちメモ

寿陵 [じゅりょう]

生前にお墓を購入することを、「寿陵」と言い、古くからおめでたいこととされています。これは、日本のお墓のルーツが「仏塔」だったことに由来しています。お墓の準備は仏塔を建てることでもあり、「生前に仏事を修める」という縁起の良い意味があるのです。

現在では、善き旅立ちを願う仏塔というより、思い出の碑としての意味の方が強く、思いにかなったお墓にしたいというお気持ちから寿陵を考える方が多くなりました。いずれにせよ、お墓は一生以上の財産です。受け継いでゆく方々にとつても、心やすらぐものを遺したいものです。

プロフィール

ヨネスケ(落語家・タレント)
< Yonosuke・よねすけ >

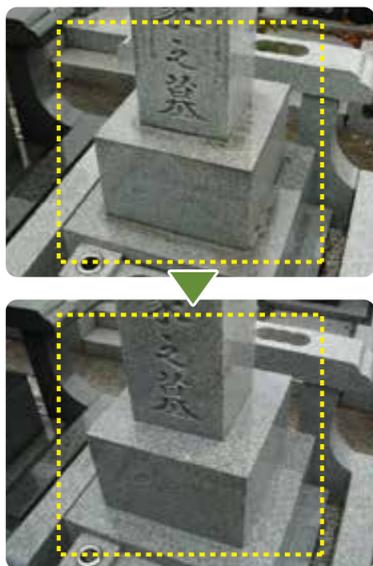
本名は小野五六(おの ごろう)。1948年4月15日生まれ、千葉県市原市出身。高校卒業後、桂米丸氏に弟子入りし、1967年に「桂米助」の高座名で初高座。1981年10月に真打ち昇進。以降、落語家として多くの寄席に出演。一方、「ヨネスケ」の名でタレントとしても活躍。「突撃!隣の晩ごはん」シリーズ(現在はBS日テレ「真麻のドンパツ!!」月~金、11時~内で放送中)で、一躍お茶の間の人気者に。また野球への造詣も深く、ラジオ番組で解説を務めるほか「野球落語」を創作・披露している。そのほか講演会やトークショーなど、多方面で活躍中。

各種代行業務・お墓のメンテナンス

水垢除去作業

建墓して数年が経ちますと手作業では取れない水垢汚れが目立ちます。石を傷めない専用のマシーンを使って除去作業をいたします。

水垢除去



メジの補修作業

建墓して数年が経ちますと石碑・外柵の接合部分のメジ(セメント)が劣化してしまいます。コーキングを使用して作業いたします。

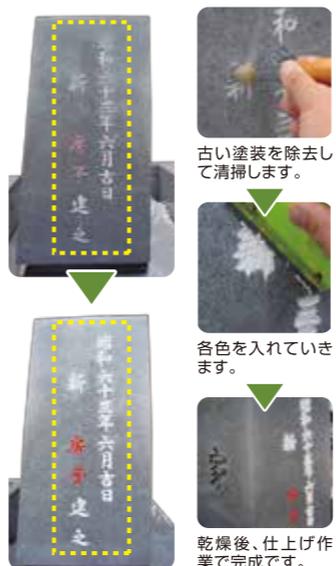
メジの補修



墓石彫刻文字の色入れ

建墓して数年が経ちますと彫刻の文字の色落ちが目立ってきます。色入れを行い刻まれている文字をはっきりと映し出します。

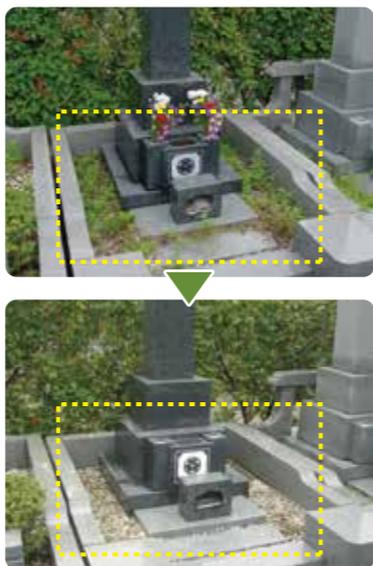
墓石彫刻文字の色入れ



年間墓所内除草契約

皆さまに代わり除草作業を手作業で年5回行います。ご希望の方はセメントにて防草化工事もお受けいたします。

墓所内除草



献花代行・供物代行

ご来園が難しい方などに代わって命日などのご指定いただいた日にちに季節のお花とお線香をお供えいたします。ご希望の方には後ほどお写真をご送付させていただきます。また、ご法事のお花・お供物を代行でご用意いたしますので、お申し付けください。

供物代行(神道式)



献花代行



※お供物は神道式のみお受けしております。その他はご相談ください。

詳しい内容・費用につきましては、管理事務所へご相談ください。

催し物情報

Information

東京多摩霊園では、ご来園の皆さまに楽しんでいただくために催し物を開催しております。さまざまなものをプレゼントしておりますので、お気軽にご来園ください。詳細は下記ホームページをご覧ください。管理事務所までお問い合わせください。



柏餅



ジュース搾み取り



シュークリーム



お花



焼き芋



ヨーヨー釣り

※平成28年度実施した催し物です。この他にも季節に合わせさまざまな催し物を随時行っております。

当霊園のホームページでは、イベント情報や最新の霊園情報を載せております。また過去に発行した「こころの園」も公開しておりますので、ぜひご覧ください。

<http://www.tokyo-tama.com>

園内でのご注意

- カートは必ず運転免許証をお持ちの方が運転してください。
- 園内及び駐車場内に於ける事故、盗難等のトラブルは一切責任を負いません。
- 車を管理棟周辺に停める場合は、進行方向に関係なく建物側に停めてください。ますようお願いいたします。(但し、白線内は常時駐車禁止です)
- 墓所までの歩道は、桜の根が張りインターロッキングを持ち上げているため、歩きにくくなっておりますのでご注意ください。
- 塔婆は建立後3年経過しましたら、自動的に下げてお焚上げいたします。そのままにされる場合は管理事務所までご報告ください。
- ペットのふんは必ず処理いただくようお願いいたします。

一括管理料のご案内

通常、二年に一度お支払いいただくことになっております管理料を一括でお支払いいただくことにより、毎回お振込みいただくわずらわしさがなくなると共に、将来お子様・お孫様の負担を無くすことができます。

現在624組以上の方がこの制度をご利用になられており、皆さまからお支払いいただきました一括管理料は安全に運用し、その運用益は霊園の整備・管理に充てる事で、皆さまによりご満足いただける霊園づくりに励んでおります。

今後におきましても、管理事務所にて随時受け付けておりますので、この機会に安心の一括管理料制度をご検討されてはいかがでしょうか。詳しくは管理事務所までお問い合わせください。